



えがおいっぱい!

よつかいどうしりつよしおかしょうがっこう こうちようしつ
四 街 道 市 立 吉 岡 小 学 校 校 長 室 だ よ り
NO. 30 R 7.7.8 (火) <こどもばん>

<大切な命 ウィーク>

7月1日から18日までは四街道市の学校では「大切な命 ウィーク」になります。そこで、今日は「大切な命」のお話をします。

図書室に「いのちのおはなし」という絵本があります。その本の中にこう書いてあります。

「いのちってなんでしょう」皆さんは何だと思いますか？絵本にはこう書いてあります。

「生きているということです」

では生きているとはどういうことだと思いますか？そしていのちはどこにあると思いますか？片方の手の指でもう片方の手首をさわってみてください。脈拍と言って、音が聞こえますか？これは心臓の音とはちょっと違うのだけれど、この音がみんなが生きている証拠になります。皆さんの心臓の音やこの脈拍の音はみんなが生まれてから今日まで、ずっと止まることなく続いてきたのです。では絵本を続けて読みます。「ではもういちどしつもんします」「いのちはどこにあると思いますか？」「心臓」と胸に手を充てる子。

「考えるのは頭だから」と頭を指さす子、「からだぜんぶ」と答える子。いろいろな意見が出てきます。先生はみんなの意見にうなずきながら「私はこんなふうに考えています」と言いました。

「いのちはきみたちのもっている時間だと言えますよ」

先生はゆっくりことばを続けます。心臓は大切ですが、いのちそのものではありません。いのちを動かすためのモーターです。

心臓が止まったら人間は死んでしまい、使える時間もなくなるのです。いまきみたちはどの

ようにでも使える自分の時間をもっている。時間を使うことは、いのちをつかうことです。

みんなはびっくりしました。いのちが大切だと言うことはよくわかっていましたが、いのち

をどう使うかは考えたことがなかったからです。「これから生きていく時間。それが、君

たちのいのちなんですよ。」みんなは生きていることのうれしさを感じ始めていました。心

臓はいまこのときも、自分たちのなかで、未来に向かって打ち続けているのです。今日から、

自分のいのちをどんなふうにつかおうかと、みんなは胸がいっぱいになっていました。

この「いのちのおはなし」の本は図書室にあります。みんなぜひ読んでみてください。み

なさんは時間をどのように使っていますか？だらだら過ごしたり、悪口やちょっかい、けん

かに使ったりしていませんか？そんないのちの使い方はもったいないです。時間は「やれば

いつかかならずできること」や「人のため」に使ってみませんか？

